

熊本市立大江小学校

ときめき

2023.10.18(水)
No. 74
文責
松永

五年生 集団宿泊教室(阿蘇青少年交流の家)いろいろな体験をしました③

日が落ちたところで、キャンドルのつどいが行われる体育館へと入場しました。私の担当は、火の長でした。実行委員を中心に準備、練習してきたように、全員が立ち位置に揃ったところで、火の長と火を灯したろうそくを手にした女神が、みんなか並んだ円の中を歩いて開始の位置まで行きました。そこで大江小のキャンドルのつどいがスタートしました。分火された火を手にしながら、誓いの言葉を述べた後に、真ん中にあるキャンドル台に集められていきましたが、暗闇の中でゆらめくろうそくの火は幻想的でした。灯されたロウソクの火を見つめながら、自分のこと、友達のことなどじっくり考える時間になったと思います。静かな雰囲気の中で第一部が終了しました。続いての第2部は、8つのグループからの出し物でした。

司会進行やタイム係なども子どもたちが担当です。真剣に考える場面あり、大きくうなづく場面あり、みんなで動く場面ありと、それぞれにアイディアあふれる出し物でした。発表するメンバーも見ているメンバーも満面の笑顔でした。5年生全員の気持ちがさらに一つになった感じがしました。最後の第3部は、またまた厳粛な雰囲気に変わり、火の長からも子どもたちへのメッセージを伝えました。楽しい時間を照らしてきたろうそくの火が一つ一つ消された後、静かに部屋へと戻って行きました。



3日目の朝は、つどいの広場からうっすら雲海が見えました。朝食を済ませた後は、部屋の片づけを行い、最後のプログラムのクラフト活動の会場に集合しました。南郷檜のコースターに思い思いの絵を描いていました。中には、阿蘇の山を見ながら山の絵を描いている子もいました。みんなできばえに満足していたようでした。少し時間に余裕ができましたので、草原で遊ぶ時間がとれました。いっぱい体を動かしてきたところで、最後の食事をいただきました。

退所式を終え、学校に帰った子どもたちでしたが、一つ一つの活動をこなしていく中で、学んだこと、考えたことがたくさんあったことだと思います。それが自信へとつながっていったのでしょうか。子どもたちの言動を見て頼もしく感じました。途中、体調を崩したり弱音を吐きそうになったりするなど心配する場面もありましたが、お互いに声をかけ合い支え合う優しさも見られました。本気でぶつかった2泊3日の集団宿泊教室…みんな最後までやりとげることができたことも大きな財産です。ぜひとも、今後に活かしてほしいと思います。大江小のリーダーとしての活躍を期待しています。



退所式を終え、学校に帰った子どもたちでしたが、一つ一つの活動をこなしていく中で、学んだこと、考えたことがたくさんあったことだと思います。それが自信へとつながっていったのでしょうか。子どもたちの言動を見て頼もしく感じました。途中、体調を崩したり弱音を吐きそうになったりするなど心配する場面もありましたが、お互いに声をかけ合い支え合う優しさも見られました。本気でぶつかった2泊3日の集団宿泊教室…みんな最後までやりとげることができたことも大きな財産です。ぜひとも、今後に活かしてほしいと思います。大江小のリーダーとしての活躍を期待しています。

